

第4章

教育・文化・スポーツ

教育の充実、文化・スポーツの活性化で 所沢の魅力を高めます

第1節 生涯学習

いくつになっても気軽に学べ、
学んだことを地域に活かせるまち

- 4-1-1 学習機会の充実
- 4-1-2 市民の学習と学んだことを地域に活かすための支援
- 4-1-3 学習環境の整備・充実
- 4-1-4 学習情報の収集・発信
- 4-1-5 学習資源の蓄積・活用

第2節 学校教育

子どもたちが生きる力を身に付け、
一人ひとりの良さや可能性を伸ばせるまち

- 4-2-1 確かな学力と自立する力の育成
- 4-2-2 豊かな心の育成
- 4-2-3 健やかな体の育成
- 4-2-4 地域が信頼する学校づくりの推進
- 4-2-5 学校環境整備の推進
- 4-2-6 地域におけるネットワークの強化
- 4-2-7 教育環境の充実

第3節 青少年育成

若者が自覚と責任を持ち、活躍ができるまち

- 4-3-1 地域・家庭・学校の連携強化
- 4-3-2 青少年へのサポート体制の整備
- 4-3-3 ニートや引きこもりの子ども・若者への支援の充実

第4節 社会教育

地域や市民が主体となり、それぞれの経験を活かし、
世代を超えて協働できるまち

- 4-4-1 家庭・地域の教育力の向上
- 4-4-2 人権教育の推進
- 4-4-3 公民館機能の充実
- 4-4-4 図書館機能の充実

第5節 市民文化

市民が「ふるさと所沢」への愛着や誇りをもって
個性豊かな市民文化を育むまち

- 4-5-1 個性あふれる文化の創造
- 4-5-2 ふるさと研究を推進するための環境の整備
- 4-5-3 風土に培われた歴史と文化の伝承と発信

第6節 スポーツ振興

市民が手軽にスポーツを楽しみ、
健康長寿になれるまち

- 4-6-1 スポーツ施設の整備・充実
- 4-6-2 スポーツ事業の充実
- 4-6-3 スポーツ指導者の充実
- 4-6-4 自主的なスポーツ・レクリエーション活動の支援
- 4-6-5 スポーツを通じた健康づくり



分野別の主な計画

計画名	計画期間	計画概要
所沢市教育振興基本計画 (教育総務課)	平成23(2011)年度 ～30(2018)年度の 8年	生涯学習、学校教育ほか教育委員会が所管する全事業について、めざすべき方向性や基本理念等を示し、総合的・計画的に施策を推進するための計画です。
第4次所沢市生涯学習 推進計画 (生涯学習推進センター)	平成23(2011)年度 ～30(2018)年度の 8年	市民一人ひとりが心豊かに生き活きと人生を送ることを目標とした生涯学習の施策を推進・振興するための計画です。
所沢市 いじめ防止基本方針 (学校教育課)	平成26(2014)年2 月～	「いじめ防止対策推進法」第12条に定める、所沢市におけるいじめの防止等の対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針です。
所沢市図書館ビジョン (所沢図書館)	平成25(2013)年度 ～平成30(2018)年 度の6年	図書館が市民文化の創造と発展を支える地域の情報拠点となることをめざし、今後のあるべき姿や方向性を示すものです。
第2次所沢市 子どもの読書活動 推進計画 (所沢図書館)	平成26(2014)年度 ～平成30(2018)年 度の5年	子どもたちがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができることをめざし、施策の方向性や取り組みを示した計画です。
所沢市スポーツ振興計画 (スポーツ振興課)	平成18(2006)年度 ～平成27(2015)年 度の10年	市民が生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を通して、健康で文化的な生活を営み、豊かな人間関係を培っていくことで本市のまちづくりに寄与できる、いつでもどこでもだれもが楽しめる「豊かな生涯スポーツ社会の実現」をめざすための取り組みを定めた計画です。



外国語授業



第1節

生涯学習

いくつになっても気軽に学べ、
学んだことを地域に活かせるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 「第4次所沢市生涯学習推進計画」が平成23年度にスタートしました。
- 生涯学習推進センターでは、市民が講座を企画・運営することや、同センターで全市的な課題に取り組むことで、地区を越えたつながりを深めながら、まちづくりへの参加や成果を地域に活かす動きが育ってきています。
- 生涯学習推進センターでは、利用者の利便性の向上のために東門を開設したほか、利用率の高い体育室の大規模修繕を行いました。
- 郷土の資料の収集・保存・企画展示とそれらの活動を進めるための調査や支援するボランティアを育成しています。



生涯学習推進センター
(所沢市並木)

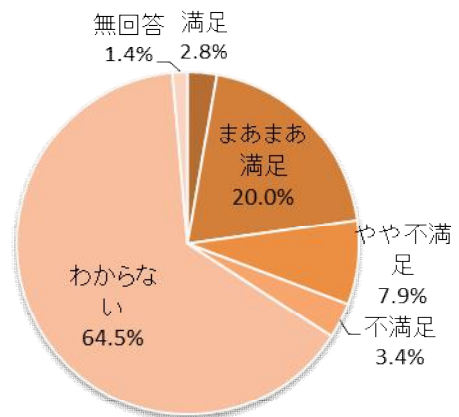
課題

- 市民の多様なニーズに対応した学習機会の充実が必要です。
- 講座等の参加者がその成果を地域に活かせるようなサポートを工夫する必要があります。
- 生涯学習推進センターでは、施設の老朽化に対しての環境整備が必要です。
- 生涯学習に関する情報不足、学習施設へ来られない方の要望などに対し、さらに周知方法を工夫する必要があります。
- ふるさと研究エリアがある生涯学習推進センターの周知を図るとともに、関係機関・関係団体との連携を深める必要があります。



所沢市が取り組んでいる生涯学習の環境づくりに満足している市民の割合

(平成25年度市民意識調査)



基本方針

◆4-1-1

学習機会の充実

知識・技術を得る場として、また現代的課題を学ぶ場として、各種学習講座事業を開催するなど多様な学習機会の充実に努めます。

◆4-1-2

市民の学習と学んだことを地域に活かすための支援

市民の学習意欲の維持・向上を図るため、関係機関や民間と連携しながら学習事業のアフターサポートや相談事業の充実を図ります。

また、市民が学んだことを地域に活かすための体制整備や機会の充実に努めます。

◆4-1-3

学習環境の整備・充実

快適な学習環境を提供するため、計画的で無駄のない環境整備を進めるとともに、関係機関と連携しながら安全で誰もが利用しやすい学習環境づくりに努めます。

◆4-1-4

学習情報の収集・発信

市民が求める学習情報や、学習活動のきっかけとなる情報を収集し、正確かつ迅速に幅広く発信します。

また、学習情報に市民の興味・関心が集まるよう、周知方法の工夫に努めます。

◆4-1-5

学習資源の蓄積・活用

ふるさと研究の成果をはじめ、地域における学習や研究の成果、人材やノウハウなどを将来の学習のための資源として蓄積・保存します。

また、学習事業や展示を通して、地域学習や市民のさまざまな学習活動に活用し、学校教育との連携も進めます。



市民大学(受講生発表会)





計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
生涯学習推進センター 主催事業参加者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		13,988	16,000	17,000	18,000	19,000		

説明：生涯学習の充実に向けた学習事業の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の生涯学習推進センター主催事業の参加者数です。
目標値は、平成30年度までに19,000人をめざすものです。

関連する基本方針 4-1-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
生涯学習推進センターの 主催事業参加者の満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		90	94	96	98	100		

説明：生涯学習推進センターの主催事業参加者の満足度を示す指標です。
現状値は、平成25年度の講座等におけるアンケートで、「生涯学習推進センターの事業内容について満足している」と答えた人の割合です。
目標値は、毎年度2ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 4-1-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
生涯学習推進センターの 施設利用者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		67,865	85,000	90,000	95,000	100,000		

説明：生涯学習に対する市民の関心度を示す指標です。
現状値は、平成25年度の生涯学習推進センターの利用者数です。
目標値は、平成30年度までに100,000人をめざすものです。

関連する基本方針 4-1-3



教えて！
トコロん

生涯学習推進センターってどんなところ？



廃校となった小学校校舎を活用し、市民の学習活動を推進するため、各種講座の開催などの学習事業や施設提供を通じた「**人材育成**」、郷土の歴史や自然、文化を保存・活用する「**ふるさと研究**」、学校教育や家庭教育を支援する「**教育臨床研究**」の3つの異なる機能を備える複合的施設です。



資格取得講座「パソコン講習会」



生涯学習推進センターの「ふるさと研究エリア」



第2節

学校教育

子どもたちが生きる力を身に付け、
一人ひとりの良さや可能性を伸ばせるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 学習支援員[※]の配置や学びノート[※]の活用、学校での授業研究などを通して、学力向上への取り組みを進めています。
- 不登校児童生徒対策として、心のふれあい相談員[※]等を配置し、未然防止や早期の支援に努め、学校全体で取り組んでいます。
- 親子料理教室等さまざまな食育[※]推進事業を行っています。
- 小学校32校 120棟、中学校15校79棟を対象とした耐震改修工事により、小・中学校の耐震化事業が完了しました。



食育推進事業「親子料理教室」

課題

- 子どもたちの確かな学力と自立する力の育成のため、各種調査を分析し、課題を明確にする必要があります。
- ICT[※]などの専門的な教育の実施にあたっては、教員の専門性を高めるための研修体制が必要です。
- 子どもたちの豊かな情操と道徳性を育むため、体験活動等、多くの機会を設ける必要があります。
- 不登校児童生徒への対策として、相談体制を充実させるとともに、小・中学校が連携する必要があります。
- 給食の残菜率の減少や地場産食材の使用率向上への取り組みを進める必要があります。
- 学校の活性化により、地域が信頼する学校を構築する必要があります。
- トイレ改修や校舎内装木質化など、教育環境の改善のために、財政状況を勘案しながら計画的に事業を進める必要があります。
- 家庭教育の支援と地域におけるネットワークの強化に取り組む必要があります。
- 児童・生徒及び保護者の教育機会の選択の幅を広げるために、市内に私立学校を誘致する必要があります。

※学習支援員…教員資格を有し、授業の指導補助や少人数指導・コンピュータ教育の補助等を行う者。

※学びノート…ふるさと所沢の素材を取り入れて市独自に作成し、学校や家庭での学習に活用する教材。教材にはドリルとDVDがある。

※心のふれあい相談員…いじめ・不登校の問題を早期に発見し解消するため、校長の指導のもと教職員と連携し、児童生徒や保護者への支援活動を行う者。

※食育…「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

※ICT…コンピュータなどの情報技術及びインターネットなどの通信に関する技術を合わせた形のこと、情報通信技術という。インターネットを利用する調べ学習や、電子黒板での学習課題発表など、学びの場においてICTが活用されている。



基本方針

◆4-2-1

確かな学力と自立する力の育成

子どもたちがこれからの多様で変化の激しい社会をたくましく生き抜いていくため、基礎的・基本的な知識・技能と、思考力・判断力・表現力などを身に付け、学ぶ意欲を持って自らの学びを創造できるよう、学校・家庭・地域で連携して取り組みます。

また、小・中学校の連携や教師の専門性を高めるための先進的な研究を進め、研修体制の充実を図ります。



「わかる・できる喜び」を味わわせる授業

◆4-2-2

豊かな心の育成

いじめを許さない意識の醸成をはじめ、子どもたちの豊かな情操と道徳性を育むために、自然体験・地域との関わり・読書活動などの機会をより多く設けることに努めます。

また、相談活動の充実を図ることで、子どもたちのさまざまな問題への対応力を高めます。

◆4-2-3

健やかな体の育成

子どもたちに望ましい食生活と生活習慣を身に付けさせるとともに、体力を向上させるための機会と環境をつくります。

◆4-2-4

地域が信頼する学校づくりの推進

地域が信頼する学校を構築するため、教師力・学校の組織力の向上を図るとともに、特色ある学校づくりを推進します。

また、地域の教育力を活かして学校の活性化を図ります。

◆4-2-5

学校環境整備の推進

トイレ改修や校舎内装木質化を含め学校施設や備品を計画的に整備します。

また、学校応援団の力を活かし安心・安全な学校環境整備に努めます。

◆4-2-6

地域におけるネットワークの強化

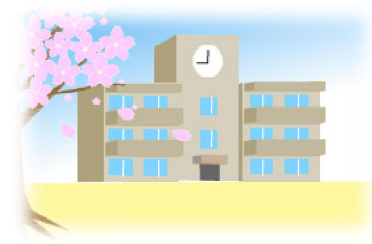
教育の原点である家庭の教育力の向上と、地域におけるネットワークの強化を図ります。

また、放課後における子どもの居場所づくりに努めます。

◆4-2-7

教育環境の充実

教育環境の充実を図るため、特色ある私立学校を誘致します。



計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
授業がわかりやすいと思う 児童・生徒の割合	%	H26	H27	H28	H29	H30	
		90	現状値以上				

説明：子どもたちの学校での授業に対する意欲を測る指標です。

現状値は、平成26年度の所沢市立小中学校児童生徒継続実態調査の設問「学校の授業でわかりやすい授業が多くありますか」に対して、「ある」と答えた児童生徒の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

アソート



関連する基本方針 4-2-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
教育センター研修会の 満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30	
		72	73	74	75	76	

説明：教職員の資質の向上を測るための指標です。

現状値は、平成25年度に開催した、資質向上や児童・生徒の学力向上をめざした研修会に参加した教職員の満足度（ABCD）のうち、A「たいへんよかった」が占める割合です。
目標値は、毎年度1ポイントの増加をめざすものです。

アソート



関連する基本方針 4-2-1、4-2-4

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
新体力テストにおける全種目 の全国平均を上回る割合	%	H25	H27	H28	H29	H30	
		51.4	53.4	54.4	55.4	56.4	

説明：児童・生徒の健やかな体の育成の度合いを示す指標です。

現状値は、平成25年度の新体力テスト 144 項目（8種目×9学年×男女）のうち、市の平均が全国平均（前年度）を上回った種目の割合です。
目標値は、毎年度1ポイントの増加をめざすものです。

関連する基本方針 4-2-3

新体力テスト



- 新体力テストの種目は、①50m走（走力）、②握力（筋力）、
③反復横とび（敏捷性）、④ボール投げ（投力）、⑤立ち幅跳び（跳躍力）、
⑥持久走または20mシャトルラン（全身持久力）、
⑦上体起こし（筋持久力）、⑧長座体前屈（柔軟性）の8種目です。

子どもの体力向上のための取り組みの成果は、このテストを活用して評価することができます。
全国体力・運動能力、運動習慣等調査（全国体力調査）は、このテストを用いて、子どもの体力状況の把握分析と、学校における指導に役立てることを目的として実施されています。所沢市では児童・生徒の体力状況を全国平均値と比較することにより児童・生徒の長所と課題を明らかにし、学校における体育・健康に関する指導改善に役立てています。



指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
学校トイレの改修率	%	H25	H27	H28	H29	H30	
		23	26	29	32	35	

説明：学校環境整備の進捗状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度までの所沢市立小中学校のトイレ洋式化の改修状況です。
 目標値は、平成30年度までに35%をめざすものです。

関連する基本方針 4-2-5

指標名	単位	現状	年度別目標				達成
特色ある私立学校の開校	-	H26	H27	H28	H29	H30	
		推進	推進	推進	推進	開校	

説明：特色ある私立学校の誘致の実現を示す指標です。
 現状は、平成26年度の進捗過程を表しています。
 目標は、平成30年度における特色ある私立学校の開校をめざすものです。

関連する基本方針 4-2-7

教えて！
ところん



学校応援団ってなあに？

学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについて
**ボランティアとして協力・支援を行う 保護者・地域住民による
 活動組織を「学校応援団」と呼んでいます。**

地域の方が調整役になり、登下校時の見守り、花壇の整備や学校
 ファーム（児童生徒の農業体験）への支援、地域の伝統料理の指導
 や「繭玉づくり」などの伝統文化を生かした学習活動への援助、図
 書の読み聞かせなど、さまざまな活動を行っています。

学校からは、子どもに「社会性」が身に付く、学習活動に対する
 興味や関心が高まっているという声が、また、学校応援団の方から
 は学校への支援に「生きがい」や「やりがい」を感じるという声が
 あげられています。



入学式(南小学校)



第3節

青少年育成

若者が自覚と責任を持ち、活躍ができるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 「所沢市放課後子ども健全育成基本方針」に基づき、「すべての子どもがひとしく、安心してのびのびと育ちあう環境をつくる」、「地域全体でみんなの宝“ところっこ”を見守り、子どもたちのふるさと意識を深める」、「子育て家庭を地域みんなで支える」を基本目標として、放課後児童健全育成事業をはじめとした13事業に取り組んでいます。



児童館事業「キッズひろば」

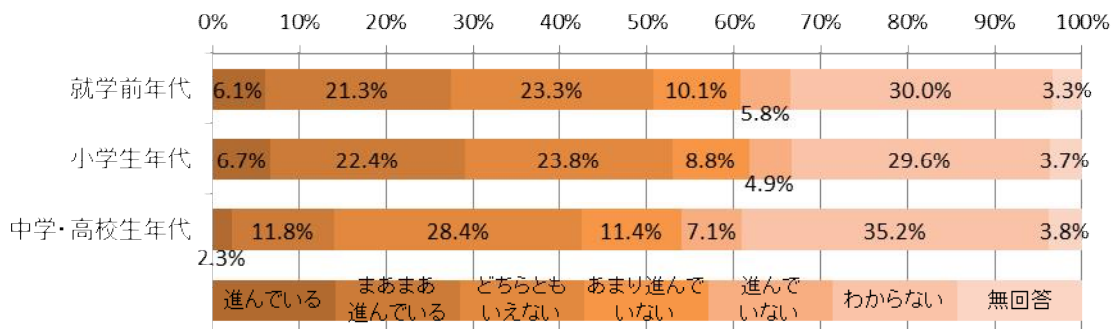
課題

- 大規模児童クラブは平成24年度までに5箇所解消しましたが、共働き世帯が増加しているため、新たな対応を推進させる必要があります。
- 青少年育成所沢市民会議など青少年健全育成団体と協力して、青少年の健全育成事業を引き続き進める必要があります。
- 「子ども・若者育成支援推進法^{*}」や「子ども・子育て支援法」に関連する施策の動向に注視しながら、青少年育成のための施策を進める必要があります。
- 上記の施策を進めるために広く市民に青少年に対する施策に関心を持ってもらう必要があります。



子どもたちがいきいきと生活し、笑顔にあふれるまちづくりが進んでいると思う市民の割合

(平成25年度市民意識調査)



^{*}子ども・若者育成支援推進法…深刻化するニート、ひきこもり等の社会問題を背景に平成22年4月に施行。子ども・若者育成支援施策の総合的推進の枠組み整備と、円滑な社会生活が困難な子ども・若者を支援するネットワーク整備に取り組む。



基本方針

◆4-3-1

地域・家庭・学校の連携強化

地域・家庭・学校などがそれぞれの役割を再認識し、「三つ葉の提言」に掲げる「四つの行動目標」に基づき、連携して青少年の健全育成に努めます。

また、青少年にかかる事件・事故、非行問題などに関係機関と連携して対応することで、青少年が健やかに成長できる地域環境づくりに取り組みます。

◆4-3-2

青少年へのサポート体制の整備

青少年が健やかに成長するよう、自然体験や社会体験等の活動や異年齢交流により、青少年の「生きる力」の養成と、社会や地域に貢献する青少年の育成に取り組みます。

また、安心・安全な居場所づくりを進めます。

◆4-3-3

ニートや引きこもりの子ども・若者への支援の充実

社会への適応が不十分なニート*や引きこもりなどの課題に対応するため、関係組織・機関と連携して、就労・自立に至るまでの支援を一貫して行う仕組みづくりなどに取り組みます。



ワンパクスキーキャンプ

計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
			H25	H27	H28	H29	H30	
青少年の健全育成に関する施策への認知度	%	H25	H27	H28	H29	H30	↑	
		38	43	45	47	50		

説明：青少年非行防止及び健全育成対策の市民認知度を測る指標です。

現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「施策の満足度についておうかがいします」の「青少年の育成について」に対し、「わからない」と答えた人・無回答を除く割合です。目標値は、平成30年度までに50%をめざすものです。



関連する基本方針 4-3-1、4-3-2、4-3-3

*ニート…15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。ニート状態にある若者の数は平成24年に63万人で、平成14年以降概ね横ばいで推移しているものの、同年代に占める割合は増加傾向にある。



第4節

社会教育

地域や市民が主体となり、それぞれの経験を活かし、世代を超えて協働できるまち

現状・これまでの主な取り組み

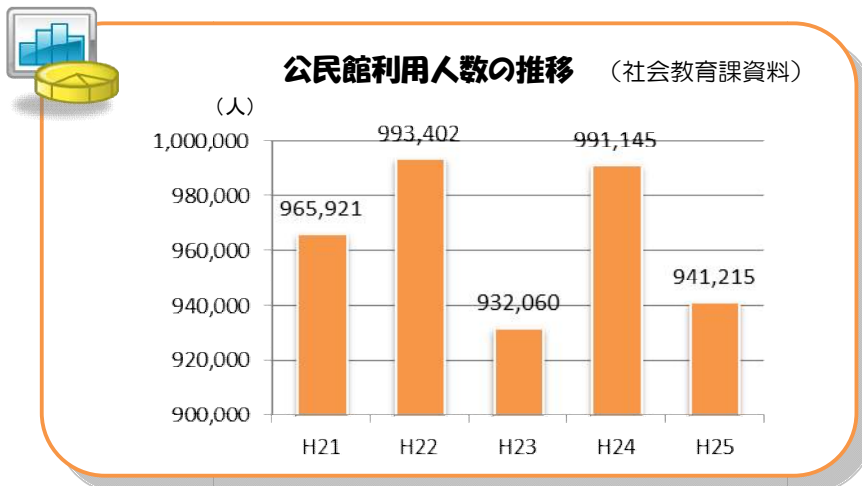
- 家庭での学習の機会の提供、青少年教育の充実に取り組んでいます。
- まちづくりセンターを拠点とする「地域ネットワーク」の整備に向け、まちづくりセンターで市民等と協働した事業に取り組んでいます。
- 新所沢複合施設の第2期工事が完了し、図書館分館及び児童館の業務を開始しました。
- 図書館分館7館に指定管理者制度*を導入し、祝日の開館及び開館時間の延長を行っています。



所沢図書館新所沢分館
(所沢市緑町)

課題

- 家庭教育学級の周知や子ども会育成会の自然体験・社会体験活動の充実を図り、学校・家庭・地域が連携した家庭教育支援・青少年育成支援を進める必要があります。
- 学校・家庭・地域の連携を図るため、PTA活動をはじめ、社会教育関係団体の活動支援を進める必要があります。
- 人権尊重社会の実現のため、さまざまな人権問題解決に向けた学習の場を提供する必要があります。
- 地域づくりにつながる公民館活動を推進するため、社会教育事業研究、職員研修を充実させる必要があります。
- 図書館においては、各館の立地条件・利用状況を踏まえた開館時間の見直し等、利便性向上に向けた利用機会の拡大が研究課題です。



*指定管理者制度…公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図ることを目的としている。



基本方針

◆4-4-1

家庭・地域の教育力の向上

家庭教育に関する学びの機会の充実を図ります。

また、子ども会活動などを支援することで、学校・家庭・地域の連携を強化します。

◆4-4-2

人権教育の推進

一人ひとりの人権意識の高揚に向けて、人権問題解決のための学習機会の充実などにより、学校や家庭、地域などにおける人権教育を推進します。



所沢図書館まつり

◆4-4-3

公民館機能の充実

社会教育施設である公民館を市民学習活動等の拠点として位置付け、地域のニーズに沿った学習機会の充実を図ることで、地域の教育力の向上に努めます。

また、施設については計画的に修繕等を行い、整備します。

◆4-4-4

図書館機能の充実

市民ニーズを的確に捉え、必要な情報や蔵書の収集を行うとともに、レファレンスサービス*の充実を図るなど、情報拠点としての機能を拡充します。

また、人生をより深く豊かなものにするため、子どもから大人まで市民すべての読書活動を支援します。

特に、子どもの読書については、「所沢市子どもの読書活動推進計画」に基づいて取り組みを進めます。

教えて！
トコロん



どうして、「子どもの読書」が大切ななの？

読書は、子どもが心身ともに健やかに成長するために必要不可欠な栄養です。

しかし、インターネットなどの情報メディアが急速に普及し、子どもをとりまく生活環境や価値観が多様化するなか、子どもが自分の力だけで本にふれあい、読書の楽しみを知ることは難しくなっています。

このような状況に対し、所沢市では、すべての子どもが読書の楽しみを知り、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるようになることをめざし、平成26年3月に「第2次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

*レファレンスサービス…利用者の調査・研究に対して、図書館員が情報あるいは必要とされる資料を提供・回答することによって援助するサービス。



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
市民等と協働で 企画実施した事業の割合	%	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		53.8	56.0	57.1	58.2	59.3		

説明：協働のまちづくりに向けた取り組み状況を示す指標です。
 現状値は、まちづくりセンターで実施する事業のうち、平成25年度に市民等と協働で実施した事業の割合です。
 目標値は、毎年度1.1ポイントの増加をめざすものです。

関連する基本方針 4-4-3

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
図書館の蔵書数	冊・点	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		892,000	900,000	904,000	908,000	912,000		

説明：図書館全館の図書資料（雑誌・視聴覚資料を除く、紙芝居を含む）の充実度を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の蔵書数です。
 目標値は、平成30年度に912,000冊（点）をめざすものです。

関連する基本方針 4-4-4

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
図書館の資料貸出数	冊・点	H25	H27	H28	H29	H30	➔	
		1,720,000	1,735,200	1,742,800	1,750,400	1,758,000		

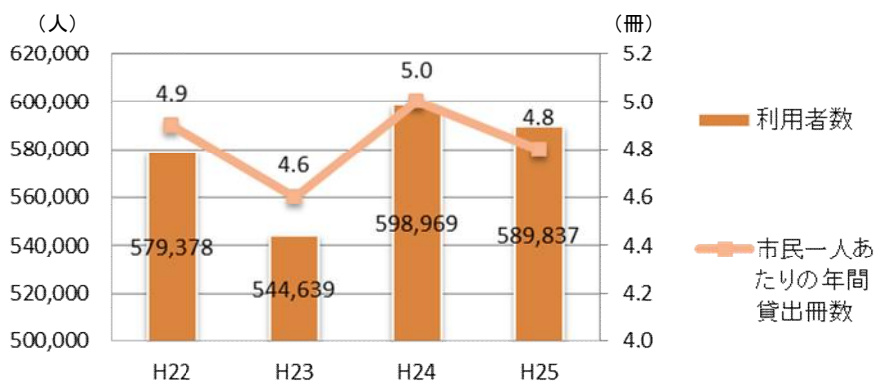
説明：図書館に対する市民の利用度を示す指標です。
 現状値は、平成25年度的全資料（雑誌・視聴覚資料を含む）の貸出冊（点）数です。
 目標値は、毎年度7,600冊（点）以上の増加をめざすものです。

関連する基本方針 4-4-4



図書館利用者数と市民一人あたりの年間貸出冊数の推移

（図書館資料）





公民館活動ってどんなモノ？

公民館活動には、年間で約94万人(平成25年度)もの人が参加しています。

そこでは、地域住民やサークル・団体が活動しているだけでなく、学習活動を通じた地域づくりの場として、地域の様々な教育資源を結びつけるコーディネートやいろいろな事業などを行って、**地域住民の社会教育活動を応援**しています。

毎年、地区ごとに特色のある文化祭を行っていますので、サークル・団体の日頃の成果発表を見たり、既に活動されている方々や地域住民と交流しに気軽に参加してみませんか？

何か発見があるかもしれませんね。



第5節

市民文化

市民が「ふるさと所沢」への愛着や誇りをもって個性豊かな市民文化を育むまち

現状・これまでの主な取り組み

- 「市民文化フェア」などの各種市民文化活動や児童文化の奨励・支援を継続しています。
- 市民文化センター「ミューズ」を管理運営し、さまざまな芸術・文化に親しむ機会を提供しています。
- 郷土の資（史）料を収蔵する施設の整備に向けた検討を続けています。
- 郷土の文化遺産を保護し、後世へ伝えるため、文化財や歴史的建造物等の調査、埋蔵文化財の発掘調査、ミヤコタナゴの保護、伝統芸能発表会などを実施しています。



国指定重要文化財「小野家住宅」
(所沢市林)

課題

- 市民文化活動では、スタッフの不足・固定化が課題となっています。
- 市民文化センター「ミューズ」が機能を発揮できるよう、施設の計画的な維持管理を行う必要があります。
- 市全体の文化芸術の振興への取り組みを進めるために、組織の見直しを行う必要があります。
- 文化遺産に関しては、経済的理由などで文化財や歴史的建造物の維持管理が困難になるケースがあるほか、市民からの貴重な資料を受け入れる収蔵施設が不足しているため、後世まで長く保存でき、それを地域に還元する展示機能を併せもった施設が必要です。
- 文化財の保存管理は原則として所有者が行いますが、修理等の費用負担も大きく、郷土の財産として守るためには市民、事業者等の理解・協力と市民等への支援が必要です。



県指定史跡「滝の城跡」で確認された「障子堀」(所沢市城)



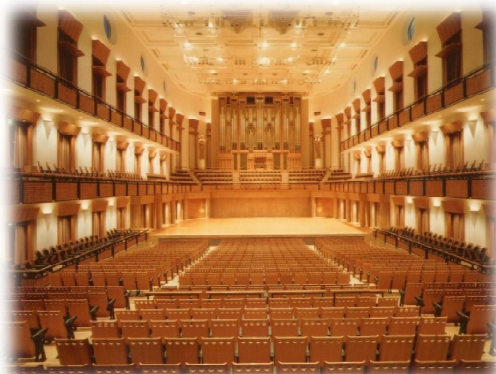
◆4-5-1

個性あふれる文化の創造

市民の主体的な文化・芸術活動を尊重し、多彩な文化を創造することで、魅力と活気にあふれたまちをめざします。

今後も多彩な文化活動が展開できる環境を創出するとともに、文化活動に参加できるスタッフを支援しながら、地域の文化を発信する機会を整備します。

また、市民文化センター「ミューズ」の計画的な修繕を行い、市民文化の発信拠点としての機能が果たせるように、維持管理を行います。



市民文化センター「ミューズ」



◆4-5-2

ふるさと研究を推進するための環境の整備

自分の住んでいるまちに興味を抱き、関心を持つことは、「ふるさと所沢」への愛着を深めることにつながります。

郷土を知るうえで欠かせない資（史）料の散逸を防ぎ、保存した資料を研究して後世に伝えていくため、財政状況を勘案しながら、恒久的な保存施設の整備に向けた検討を行います。

◆4-5-3

風土に培われた歴史と文化の伝承と発信

所沢の地で生まれ、育まれてきた歴史と文化を守り、後世に伝えていくため、郷土の歴史・文化・自然・生活を現在に伝える有形・無形の文化財等の保存・活用を図ります。

また、史跡滝の城跡の整備や歴史的建造物の解体部材の復元について検討を進めるとともに、文化財保護に対する市民の理解・協力を広く得るために積極的な情報発信を行います。



市民文化フェア(所沢航空記念公園)



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
芸術・文化に触れる機会への満足度	%	H25	H27	H28	H29	H30	
		39.1	41.1	42.1	43.1	44.1	

説明：市の芸術・文化の振興にかかる施策の成果を測る指標です。
 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、日常生活の中での芸術・文化に触れる機会に満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
 目標値は、毎年度1ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 4-5-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値				増加
ふるさと所沢に触れる機会	人	H25	H27	H28	H29	H30	
		12,076	13,600	14,400	15,200	16,000	

説明：ふるさと所沢に触れる機会の充実度を示す指標です。
 現状値は、平成25年度における、埋蔵文化財調査センター、民俗資料館、生涯学習推進センターのふるさと研究事業エリアへの来館者数及び郷土の歴史文化に関する講座等の事業への参加者数の合計です。
 目標値は、平成30年度までに16,000人をめざすものです。

関連する基本方針 4-5-2、4-5-3



市指定有形民俗文化財「荒幡の富士」
 (所沢市荒幡)



教えて！
トコロん



ミヤコタナゴってなあに？

ミヤコタナゴはコイ科の魚で、関東地方の平野部に点在する湧き水のある池や沼、水田を流れる小川などに生息していましたが、生息地の環境悪化に伴い激減し、絶滅が危惧されたため、昭和49年に「国の天然記念物」に指定されました。また、平成6年には国内希少野生動植物種に指定されています。

所沢市ではミヤコタナゴの保護を進めています！

所沢市では昭和40年代前半からの急速な都市化に伴い、ミヤコタナゴが減少したことから保護の取り組みを行い、平成8年からは人工授精によって増殖を図っています。

これにより所沢市のミヤコタナゴはかるうじて種の保存ができていますが、未だ自然に戻すまでには至っていません。

今後、自然繁殖できる生息環境を蘇らせることができれば、ミヤコタナゴを自然に戻したいと考えています。



第6節

スポーツ振興

市民が手軽にスポーツを楽しみ、健康長寿になれるまち

現状・これまでの主な取り組み

- 柳瀬川の河川用地にパークゴルフ場を整備し、管理運営を行っています。
- 市民が快適な環境でスポーツ・レクリエーションを楽しめるよう、体育施設の計画的な修繕に努めています。
- 所沢シティマラソン大会など、各種大会の継続的改善を行い、充実を図っています。
- ところざわ健康体操（とこしゃん体操）の普及のため、地域団体等と連携して体験教室等を行っています。



「ところざわ健康体操」の愛好家が一堂に集まる「とこしゃんまつり」

課題

- 「所沢市公共施設マネジメント※の方針」に沿った施設整備や、体育施設の安全な運営管理、計画的な修繕が必要です。
- 地域や職場などあらゆる場所で、多様な参加の形でのスポーツ活動の普及が必要です。
- 多様化する市民のスポーツ活動に対応するため、スポーツ指導者の養成や研修の充実など、指導者育成が必要です。
- ところざわ健康体操（とこしゃん体操）のさらなる普及のため、体験教室等の開催を引き続き行うことが必要です。



所沢市民体育館（所沢市並木）



所沢市パークゴルフ場（所沢市坂之下）

※公共施設マネジメント…本市の公共施設の今後のあり方を検討すること。本市では、平成23年度に公共施設マネジメント白書、平成24年度に公共施設マネジメント方針を作成している。



基本方針

◆4-6-1

スポーツ施設の整備・充実

誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむように、各種スポーツ施設の整備を図ります。

また、財政状況を勘案しながら計画的に施設整備を進めることで、多くの市民がより快適・便利に利用できるような施設運営を進めます。

◆4-6-2

スポーツ事業の充実

各種スポーツ大会や教室・イベントなどの継続的な改善と充実を図ります。

また、プロスポーツ観戦など「見るスポーツ」を推進し、市民のスポーツへの関心や参加意欲を高めます。

◆4-6-3

スポーツ指導者の充実

スポーツ指導者の養成や育成・活用方策の充実などにより、市民一人ひとりが日常生活の中で主体的にスポーツに親しむことができる社会づくりを進めます。

◆4-6-4

自主的なスポーツ・レクリエーション活動の支援

地域に根づいたスポーツ・レクリエーション活動の振興のため、各種スポーツ団体やレクリエーション団体などが行う自主的・自発的な市民向けの事業への支援と、さまざまなスポーツ情報の収集・提供の充実に努めます。

◆4-6-5

スポーツを通じた健康づくり

ところざわ健康体操（とこしゃん体操）など、健康づくりにつながるスポーツの普及や機会の充実に努めます。



プロフェッショナルバスケットボールリーグ
(bjリーグ)所属チーム「埼玉ブロンコス」

©HiROKO WATANABE / SAITAMA BRONCOS / bj-league




「埼玉西武ライオンズ」

©SEIBU Lions



📌 計画期間における目標指標

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	H25	H27	H28	H29	H30		
		850,700	850,900	851,000	851,100	851,200		

説明：市内スポーツ・レクリエーション施設の充実度を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の屋内・屋外体育施設の年間利用者数です。
 目標値は、毎年度100人の増加をめざすものです。

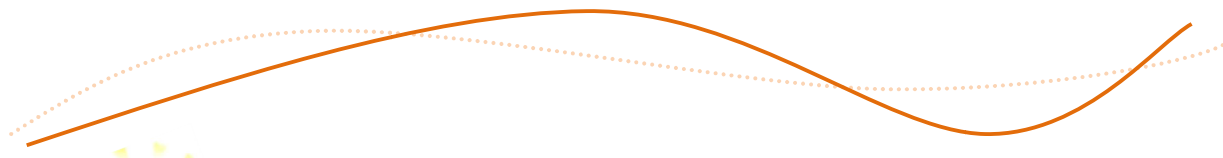
関連する基本方針 4-6-1

指標名	単位	現状値	年度別目標値					増加
スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	H25	H27	H28	H29	H30		
		49.3	51.3	52.3	53.3	54.3		

説明：スポーツ振興に関する取り組みの成果を測る指標です。
 現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、日常生活の中で、何らかのスポーツ、レクリエーション活動を楽しんでいますか」に対し、「楽しんでいる」「まあまあ楽しんでいる」と答えた人の割合です。
 目標値は、毎年度1ポイントの増加をめざすものです。



関連する基本方針 4-6-4



一緒に走ってみませんか？ 所沢シティマラソン



例年12月の上旬の日曜日に西武ドームをスタート・ゴールに開催している「所沢シティマラソン大会」は、平成2年に市制施行40周年記念事業として始まり、今では所沢市の冬の風物詩として親しまれています。

また、所沢市は日本で初めて飛行場が建設された地として有名で、この大会はそれにちなんで「ひこーきまらそん」の愛称で開催しています。

ハーフの部門のコースは、所沢市西部の狭山丘陵を中心とした起伏の激しいコース設定となっており、走りがいのあるコースとして人気があります。



教えて！
ところん

とこしゃん体操ってなあに？



「所沢市スポーツ振興計画」で進める壮年層と高齢者のスポーツ推進のため、**誰もができる市独自の健康体操**を作成し、平成19年度から「健康体操推進事業」として推進しています。

正式名称は、「ところざわ健康体操」 愛称は「とこしゃん体操」と言います。

「とこ」は、ところざわのとこ、「しゃん」は、いつまでもしゃんと生きようのしゃんです。

名称は市民の公募により選定し、楽曲は市民ボランティアに作成していただきました。

「とこしゃん体操」は、立っても、座っても出来る体操で、前半ストレッチ系（頸、肩、上体）、後半筋力・心肺持久力系（大腰筋・腸腰筋、大腿四頭筋、手首の筋）、脳の活性化を図る運動で構成され全部で10分間の体操です。

現在、スポーツ振興課事業、公民館事業の他、包括支援センター、老人福祉センター等でも実施されています。

また、家庭でも体操が出来るよう、平成21年度からは、DVD・CDを製作し、1セット500円で市政情報センターにて販売しています。



東京オリンピック・パラリンピック 2020年に向けて！

2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

所沢市は、もともとスポーツが盛んであり、国立障害者リハビリテーションセンターがあることから、障害者スポーツの拠点にもなっています。スポーツする機運や環境のさらなる向上に、パラリンピックへの理解促進に、約50年ぶりのこの機会をフルに活かしていきます。

